

電子添文改訂のお知らせ

2026年8-9月

抗ウイルス化学療法剤

処方箋医薬品^{注)}

ピフェルトロ[®]錠100mg

(ドラビリン錠)

イドビンソ[®]配合錠

(ドラビリン・イスラトラビル水和物配合錠)

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

このたび、標記製品の電子添文を以下のとおり改訂しましたのでお知らせいたします。

今後のご使用に際しましては最新の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。

弊社製品のご使用にあたって、副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

MSD 株式会社

《改訂概要》

改訂項目	改訂内容
2. 禁忌	通知*に基づき『イボシデニブ』及び『エンコラフェニブ』（を投与中の患者）を追記しました。
10.1 併用禁忌	通知*に基づき、『イボシデニブ（ティブソボ）』及び『エンコラフェニブ（ビラフトビ）』を追記しました。

* 令和8年8月25日付 厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知

- ・ 今回の改訂内容は医薬品安全対策情報（DSU）No.348（2026年9月）に掲載されます。
- ・ 改訂後の電子添文全文は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）及び弊社ホームページ（<https://www.msconnect.jp/>）に掲載しております。
- ・ 添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて、以下のGS1バーコードを読み取ることで、PMDAホームページ上の最新の電子添文等をご覧いただけます。

ピフェルトロ錠（MSD）



(01)14987185810538

イドビンソ配合錠（MSD）



(01)14987185811023

《改訂内容》

ピフェルトロ[®]錠100mg

改訂後	改訂前																																					
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、エンザルタミド、アパルタミド、リファンピシン、ミトタン、<u>イボシデニブ</u>、<u>エンコラフェニブ</u>、<u>セイヨウオトギリソウ</u> (St. John's Wort：セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品を投与中の患者 [10.1、16.7.2 参照] 2.2 略（変更なし）	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、エンザルタミド、アパルタミド、リファンピシン、ミトタン、セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort：セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品を投与中の患者 [10.1、16.7.2 参照] 2.2 略																																					
10. 相互作用 略（変更なし） 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>カルバマゼピン（テグレトール）</td><td rowspan="12">本剤の血漿中濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。</td><td rowspan="12">これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が促進されると予測される。</td></tr><tr><td>フェノバルビタール（フェノバル）</td></tr><tr><td>フェニトイン（アレビアチン）</td></tr><tr><td>ホスフェニトイン（ホストイン）</td></tr><tr><td>エンザルタミド（イクスタンジ）</td></tr><tr><td>アパルタミド（アーリーダ）</td></tr><tr><td>リファンピシン（リファジン）</td></tr><tr><td>ミトタン（オペプリム）</td></tr><tr><td><u>イボシデニブ</u>（ティブソボ）</td></tr><tr><td><u>エンコラフェニブ</u>（ビラフトビ）</td></tr><tr><td>セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品</td></tr><tr><td>[2.1、8.1、16.7.2 参照]</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	カルバマゼピン（テグレトール）	本剤の血漿中濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が促進されると予測される。	フェノバルビタール（フェノバル）	フェニトイン（アレビアチン）	ホスフェニトイン（ホストイン）	エンザルタミド（イクスタンジ）	アパルタミド（アーリーダ）	リファンピシン（リファジン）	ミトタン（オペプリム）	<u>イボシデニブ</u> （ティブソボ）	<u>エンコラフェニブ</u> （ビラフトビ）	セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品	[2.1、8.1、16.7.2 参照]	10. 相互作用 略 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>カルバマゼピン（テグレトール）</td><td rowspan="8">本剤の血漿中濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。</td><td rowspan="8">これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が促進されると予測される。</td></tr><tr><td>フェノバルビタール（フェノバル）</td></tr><tr><td>フェニトイン（アレビアチン）</td></tr><tr><td>ホスフェニトイン（ホストイン）</td></tr><tr><td>エンザルタミド（イクスタンジ）</td></tr><tr><td>アパルタミド（アーリーダ）</td></tr><tr><td>リファンピシン（リファジン）</td></tr><tr><td>ミトタン（オペプリム）</td></tr><tr><td colspan="3">←追記</td></tr><tr><td>セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品</td><td rowspan="2">[2.1、8.1、16.7.2 参照]</td><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>[2.1、8.1、16.7.2 参照]</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	カルバマゼピン（テグレトール）	本剤の血漿中濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が促進されると予測される。	フェノバルビタール（フェノバル）	フェニトイン（アレビアチン）	ホスフェニトイン（ホストイン）	エンザルタミド（イクスタンジ）	アパルタミド（アーリーダ）	リファンピシン（リファジン）	ミトタン（オペプリム）	←追記			セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品	[2.1、8.1、16.7.2 参照]		[2.1、8.1、16.7.2 参照]
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																				
カルバマゼピン（テグレトール）	本剤の血漿中濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が促進されると予測される。																																				
フェノバルビタール（フェノバル）																																						
フェニトイン（アレビアチン）																																						
ホスフェニトイン（ホストイン）																																						
エンザルタミド（イクスタンジ）																																						
アパルタミド（アーリーダ）																																						
リファンピシン（リファジン）																																						
ミトタン（オペプリム）																																						
<u>イボシデニブ</u> （ティブソボ）																																						
<u>エンコラフェニブ</u> （ビラフトビ）																																						
セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品																																						
[2.1、8.1、16.7.2 参照]																																						
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																																				
カルバマゼピン（テグレトール）	本剤の血漿中濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が促進されると予測される。																																				
フェノバルビタール（フェノバル）																																						
フェニトイン（アレビアチン）																																						
ホスフェニトイン（ホストイン）																																						
エンザルタミド（イクスタンジ）																																						
アパルタミド（アーリーダ）																																						
リファンピシン（リファジン）																																						
ミトタン（オペプリム）																																						
←追記																																						
セイヨウオトギリソウ (St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品	[2.1、8.1、16.7.2 参照]																																					
[2.1、8.1、16.7.2 参照]																																						

（ 部：通知、 部：自主改訂）

イドビンソ®配合錠

改訂後	改訂前																								
2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、エンザルタミド、アパルタミド、リファンピシン、ミトタン、イボシデニブ、エンコラフェニブ、セイヨウオトギリソウ（St. John’s Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、ラミブジン、エムトリシタピンを投与中の患者 [10.1 参照] 2.2 略（変更なし）	2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1 カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトイン、エンザルタミド、アパルタミド、リファンピシン、ミトタン、セイヨウオトギリソウ（St. John’s Wort：セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、ラミブジン、エムトリシタピンを投与中の患者 [10.1 参照] 2.2 略																								
10. 相互作用 略（変更なし） 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>カルバマゼピン（テグレトール） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） エンザルタミド（イクスタンジ） アパルタミド（アーリーダ） リファンピシン（リファジン） ミトタン（オペプリム） イボシデニブ（ティブソボ） エンコラフェニブ（ビラフトビ） セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [2.1、8.1、16.7.2 参照]</td><td>本剤の血漿中ドラビリン濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。</td><td>これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝が促進されると予測される。</td></tr><tr><td>ラミブジン（エピビル） エムトリシタピン（デシコビ） [2.1、8.1、16.7.2 参照]</td><td>略（変更なし）</td><td>略（変更なし）</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	カルバマゼピン（テグレトール） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） エンザルタミド（イクスタンジ） アパルタミド（アーリーダ） リファンピシン（リファジン） ミトタン（オペプリム） イボシデニブ（ティブソボ） エンコラフェニブ（ビラフトビ） セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [2.1、8.1、16.7.2 参照]	本剤の血漿中ドラビリン濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝が促進されると予測される。	ラミブジン（エピビル） エムトリシタピン（デシコビ） [2.1、8.1、16.7.2 参照]	略（変更なし）	略（変更なし）	10. 相互作用 略 10.1 併用禁忌（併用しないこと） <table><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr><tr><td>カルバマゼピン（テグレトール） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） エンザルタミド（イクスタンジ） アパルタミド（アーリーダ） リファンピシン（リファジン） ミトタン（オペプリム）</td><td>本剤の血漿中ドラビリン濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。</td><td>これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝が促進されると予測される。</td></tr><tr><td colspan="3">←追記</td></tr><tr><td>セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [2.1、8.1、16.7.2 参照]</td><td></td><td></td></tr><tr><td>ラミブジン（エピビル） エムトリシタピン（デシコビ） [2.1、8.1、16.7.2 参照]</td><td>略</td><td>略</td></tr></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	カルバマゼピン（テグレトール） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） エンザルタミド（イクスタンジ） アパルタミド（アーリーダ） リファンピシン（リファジン） ミトタン（オペプリム）	本剤の血漿中ドラビリン濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝が促進されると予測される。	←追記			セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [2.1、8.1、16.7.2 参照]			ラミブジン（エピビル） エムトリシタピン（デシコビ） [2.1、8.1、16.7.2 参照]	略	略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
カルバマゼピン（テグレトール） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） エンザルタミド（イクスタンジ） アパルタミド（アーリーダ） リファンピシン（リファジン） ミトタン（オペプリム） イボシデニブ（ティブソボ） エンコラフェニブ（ビラフトビ） セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [2.1、8.1、16.7.2 参照]	本剤の血漿中ドラビリン濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝が促進されると予測される。																							
ラミブジン（エピビル） エムトリシタピン（デシコビ） [2.1、8.1、16.7.2 参照]	略（変更なし）	略（変更なし）																							
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																							
カルバマゼピン（テグレトール） フェノバルビタール（フェノバル） フェニトイン（アレビアチン） ホスフェニトイン（ホストイン） エンザルタミド（イクスタンジ） アパルタミド（アーリーダ） リファンピシン（リファジン） ミトタン（オペプリム）	本剤の血漿中ドラビリン濃度が低下し、治療効果が減弱するおそれがある。	これらの薬剤及び食品の強力なCYP3A4誘導作用により、ドラビリンの代謝が促進されると予測される。																							
←追記																									
セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品 [2.1、8.1、16.7.2 参照]																									
ラミブジン（エピビル） エムトリシタピン（デシコビ） [2.1、8.1、16.7.2 参照]	略	略																							

（ 部：通知、 部：自主改訂）

《改訂理由》

2. 禁忌

強力なCYP3A誘導剤をドラビリンと併用することを禁忌としているため、強力なCYP3A誘導剤である『イボシデニブ』及び『エンコラフェニブ』を併用禁忌に追記しました。

10.1 併用禁忌

強力なCYP3A誘導剤をドラビリンと併用することを禁忌としているため、強力なCYP3A誘導剤である『イボシデニブ（ティブソボ）』及び『エンコラフェニブ（ビラフトビ）』を併用禁忌に追記しました。

MSD 株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12
ホームページ <https://www.msd.co.jp/>

製品情報お問い合わせ先

MSD カスタマーサポートセンター
医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961
＜受付時間＞9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）

2026年8月
改訂連絡番号：26-13